

1

公園のベンチは、誰もが楽しめる居場所。
「こんにちは」「やあ」と公園のベンチに仲間が集まってきた。

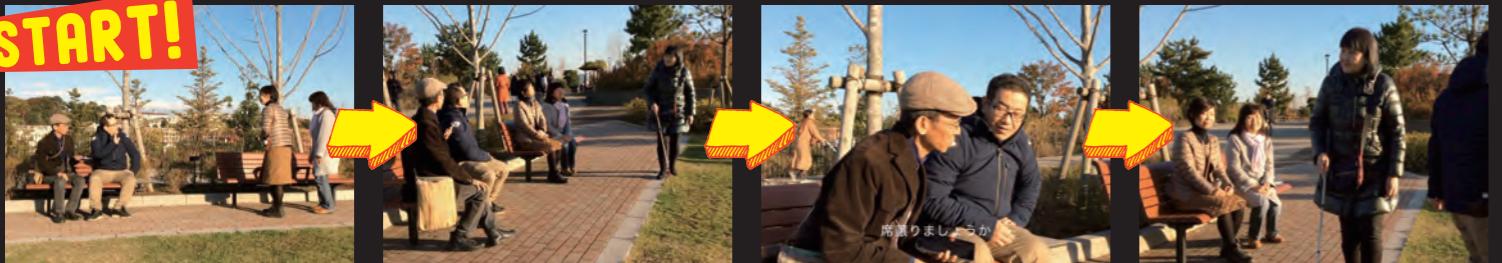
2

そこに白杖を使っている人がやってきました。どうやら空いているベンチを探しているようです。

3

ベンチを譲ろうと、男性二人が立ち上りました。でも、なんとなく声をかけずに、だまって席を立ちました。電車などでもよくある光景ですね。

START!



あれ、せっかく譲ったのに座らないな。ふりかえった男性はげげんな顔をしています。

気づいた女性が立ち上がって声をかけました。「席あきましたけど座りますか？」

「ありがとう。座りたかったけど、見えないので空いているかどうかわからなかつたんです」

空いた席に座って三人で楽しく会話。みんなの楽しい居場所になりました。

小柳先生からひとこと

白杖を使っている人と、二つのグループの合わせて3者の役割が明快でメッセージが伝わりやすい映像になっています。



あなたの気持ち、届いていますか？
～声かけしないと、伝わらない！～



みんなの 楽しいまちの居場所

シーン
SCENE 1



ひの映像の
ポイント！

視覚障害者は声をかけてもらわないと状況がわかりません。電車でも、黙って席をゆずられても、そのことに気づかず、後で分かったときにお互い気まずい思いをすることもあるそうです。席をゆする時は、一声かけましょう。急に体に触れたりせず、まずは正面から「声をかけている」ということがわかるように話しかけることが大切です。

ムービー ゴー
MOVIEへGO!



公園は、みんなが気軽に集まつて楽しめる「居場所」です。

ある日の午後、公園のベンチで楽しそうに談笑するグループの前に、白い杖を使っている人が通りがかりました。どうやら座れるベンチを探しているようですが、彼女は目が見えないため、席が空いているかどうかわかりません。それに気がついたグループの人達がとつた行動とは？